

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 25 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	チャレンジデー事業費			
担当課係名	スポーツ振興課	スポーツ振興係	作成者	金野 真悟
総合計画での位置づけ	施策の大綱	第5章 明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 97
	基本計画	4 スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備		
	主要施策	スポーツ活動の振興、充実		
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	1 目 保健体育総務費
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 25 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	全市民が健康維持や体力増進のため15分以上の運動をする。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民に運動やスポーツにふれてもらうことで、体力や健康の増進を図り、生涯スポーツのきっかけづくりをする。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	市民が気軽に参加できるスポーツイベントが各地で企画されるよう、参加を呼び掛けると共に、各個人が自宅や職場でも15分以上の運動をするとチャレンジデーに参加できることを広くアナウンスする。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	24年度実績	25年度実績	
効果	活動指標	参加者数 (市民人口1/2)	目標	人	14,961	14,779
			実績	人	10,780	13,616
			達成度	%	72.1%	92.1%
	成果指標	参加率 (市民人口1/2)	目標	%	50.0	50.0
			実績	%	36.0	46.1
			達成度	%	72.0%	92.2%
投下コスト	項 目		総事業費	24年度決算額(千円)	25年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)		—	838	747	
	人 件 費 (B)		—	580	445	
	職 員 数		—	0.07	0.07	
	職員平均人件費		—	8,286	6,359	
	(A)+(B) 投下コスト		—	1,418	1,192	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		—	0	0
		県 支 出 金		—	0	0
		地 方 債		—	0	0
		そ の 他		—	638	546
		一 般 財 源		—	780	646
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	132	88	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	48	41	

【事務事業の今までの成果】

参加率は増える傾向にあり、運動やスポーツに対する関心が少しずつではあるが、高まってきている。また、普段運動をしていない人が参加することで継続のきっかけとなり、運動している人も含めて健康増進に繋がっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	平成25年度は全国で101カ所、秋田県内では19市町村が参加している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	誰でも、いつでも、自由に参加できるイベントであり、健康増進にも繋がることから市民からの期待は大きい。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	・笹川スポーツ財団の補助事業であり、スポーツによる健康増進及び地域活動に結びついてきている。
	B1 見直しの上で継続（拡大）	
	B2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B3 見直しの上で継続（縮小）	
	C1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	毎年継続事業なので市民のチャレンジデーへの参加が違和感もなく積極的に体を動かしてくれる。病気になりづらい体力づくりの為に一役かっている。

